

# 早稲田大學東洋哲學會大會の御案内

拜啓 新緑の候、皆様におかれましては愈々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、早稲田大學東洋哲學會第三十三回大會を、左記の通り開催致しますので、なにとぞ御出席賜りますよう御案内申し上げます。 敬具

平成二十八年五月七日

早稲田大學東洋哲學會

各位

記

早稲田大學東洋哲學會 第三十三回大會

（日時） 六月十一日（土曜日） 午前十一時より

（会場） 早稲田大學文學學術院 三十三號館三階 第一會議室

（プログラム）

○研究発表・午前の部（午前十一時より）

一、『禮記』燕義篇の成書過程と「義」の役割

早稲田大學大学院博士後期課程

黒崎 惠輔

一、江西時代における王陽明の乞休・歸省疏をめぐって

早稲田大學大学院博士後期課程

劉 珉

○研究発表・午後の部（午後一時十分より）

一、法藏撰『梵網經菩薩戒本疏』の特色について——智顛説『菩薩戒義疏』との比較——

早稲田大學大学院博士後期課程

胡 建明

一、『溪嵐拾葉集』に見られる禪宗觀——三根についての理解をめぐって——

東京大學外國人研究員 ステファン・リチャ

一、マドウスーダナ・サラスヴァティーによるアートマンの四状態説の構造

早稲田大學非常勤講師

眞鍋 智裕

一、安慧の「識の顯現」への視點

——*Mahāvāntaribhāṣa*における *nir-vhāsa* の用法について——

早稲田大學非常勤講師

伊藤 康裕

一、羅欽順『困知記』に内在する理論的矛盾をめぐって

遼寧大學准教授

金 香花

○講 演（午後四時より）

一、最澄と空海

高野山大學名譽教授

武内 孝善

○總會（午後五時三十分より）

○懇親會（午後六時より）

会場 戸山カフェテリア

會費 五〇〇〇圓（學生 二〇〇〇圓）

【追記】

※ 大會當日の御連絡は、東洋哲学専修室（電話〇三―五二八六―三七〇一）までお願い致します。